

環境認識

(自動車業界)・・・成長/成熟、市場の二極化加速

- ・ 中国・アジア：増加 / 欧米・日本：横ばい
全世界市場 9,700万台規模
- ・ 国内市場：777万台/'90 520万台/'17 (33%)
- ・ 国内生産：920万台規模 (現地生産化 輸出減少)
- ・ 自動車メーカー：連結業績好調 国内単独苦戦
- ・ 車両大型化：全長、車高、重量 (安全環境性能・電動化)

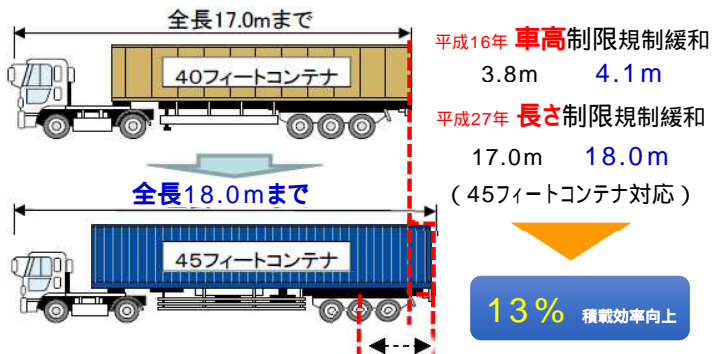
(物流業界)・・・労働力 (輸送能力) 不足

- ・ ドライバー不足、高齢化 深刻化
- ・ 慢性的長時間労働、繁閑差ギャップ (3月/4月) 大
- ・ 燃料・人件費・健康管理・安全対策コスト増加
- ・ 荷主からの輸送コスト低減要請 経営環境悪化

(政策)・・・時代の要請、法令遵守の厳格化

- ・ 法令遵守厳格化 (車限令の運用強化)
- ・ 高速料金割引額の縮小
- ・ 働き方改革導入 / 労働時間の削減の方向性
- ・ 安全、環境対応の要請

近年の特殊車両通行許可基準の見直し



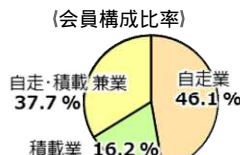
リアオーバーハング：3.2 / 3.8m ~ 4.2m



日本陸送協会 二大基本方針

1. 経営の安定化 2. 業界の地位向上

発足 : 昭和40年
 会員数 : 全国 706 会員 (9支部)
 積載車輛数 : 5,805 台
 ドライバー数 : 16,839 名 (内女性 786名 4.7%)



重点施策

1. 安全の確立
 - ・ 教育認定制度の充実
認定者数：832名 (ドライバー684名、管理者148名)
 - ・ 健康起因事故の撲滅
脳MRI受診 / SAS検診推進
2. 輸送秩序の確立
 - ・ コンプライアンスの徹底
 - ・ 路上積み下ろし作業拠点削減
3. 陸送事業の経営環境改善
 - ・ 陸送事業概況調査の実施
 - ・ 適正運賃収受に向けた取り組み (各社 / 個別対応)
4. 労働環境改善による労働力の確保
 - ・ 作業環境改善 / 安全確保
 - ・ 健康管理の推進
 - ・ 働き方改革の対応
5. 規制改革活動の推進
 - ・ 自走：高速道路料金割引適用
 - ・ 積載：特殊車両通行許可
許可基準の見直し

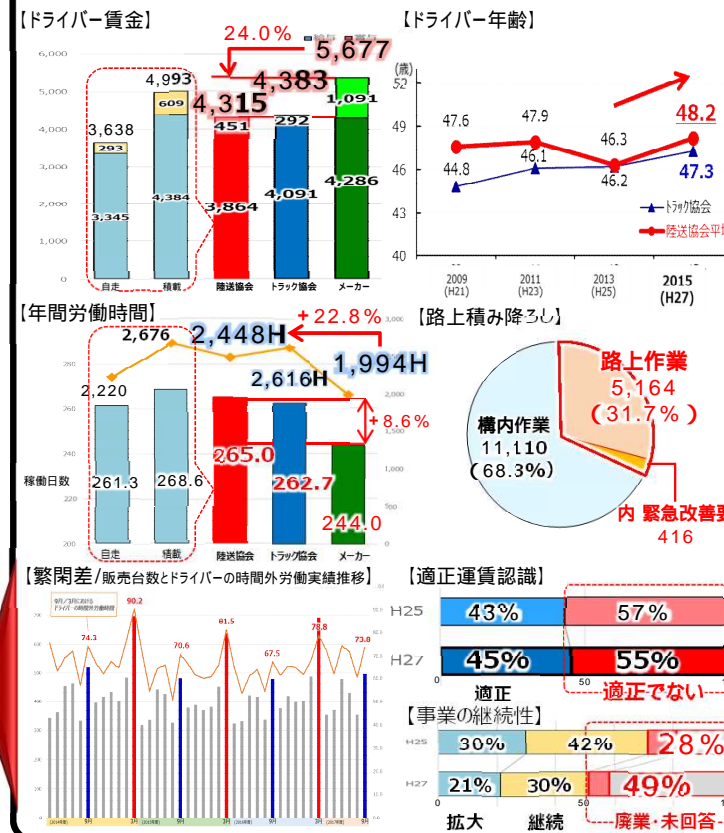
『連結全長車両諸元値』 → 『貨物積載状態』 <18mで申請

車両構造の相違	コンテナ用セミトレーラ (45フィート緩和)	自動車運搬用セミトレーラ (標準サイズ)
全長	18mまで	17mまで
トレーラ軸数	2 ~ 3軸	1軸
リアオーバーハング	3.2 / 3.8 ~ 4.2m	1.0 ~ 2.5m

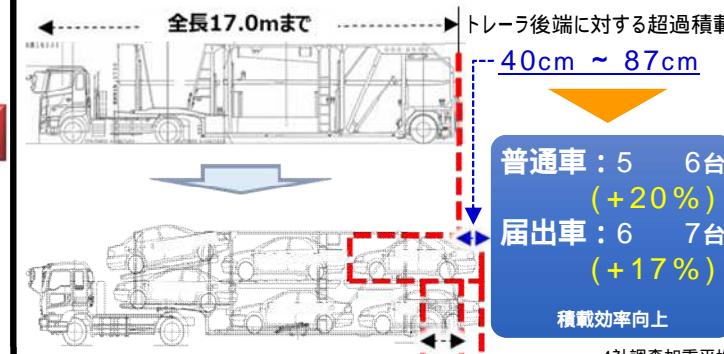
右左折・旋回時の安全性実証

自動車運搬用セミトレーラの実態に合わせたリアオーバーハング値の設定

業界の実態



自動車専用運搬セミトレーラの効率化



交通の危険防止

社会資本
道路の構造保全

安全 / 保全の担保・コンプライアンス遵守

両立

物流の効率化

生産性向上
労働時間短縮